

有縁の皆さんでお読み下さい

法名は、浄土真宗の門徒として生きる名告りと証です。

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行
お寺のかわら版
じゅんしょうじほう
純正寺報

しょう しき しょう こう
青色青光 No.317



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）
〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829
メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

報 恩 講

この度のこのご縁は今生最後と思うべし
コロナ対策をしながら、是非お参り下さい。

十月七日（金）前日準備

午後一時から三時まで

本堂内外の清掃、お仏具のお磨き、お内陣の荘嚴、幕張り等。門徒会役員中心で作業いたしますが、一般のご門徒の方もご一緒下さると有難いです。

十月八日（土）法要一日目

午前十時 日中法要 『無量寿経作法』とご法話

午後一時半 大速夜法要 『宗祖讃仰作法』とご法話

午後六時 子ども報恩講 『しんじんのうた』とご法話

ビンゴゲーム

十月九日（日）法要二日目

午前十時 満日中法要 『阿弥陀経作法』とご法話

ご法話

高島市光明寺ご住職

松林 尚真 師

10月25日（火）

10:00~12:00 13:30~15:30

こんき報恩講

法話：大津市長久寺 寺西実円 師

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



QRコードリーダーで読み込んでください。

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

法名は仏弟子の名告り

「法名のない人を門徒とは呼べない」

門徒のお葬儀

純正寺にご縁のある方がお亡くなりになると、ご家族などからご連絡があり、臨終後のお勤めにお伺いします。お勤めの後に、親族の方や葬儀社の方とお通夜・お葬儀の打ち合わせをしている時に、必ず話題に上るのが「法名」です。亡くなられたご本人が、既に帰敬式を受式されて法名をお持ちであるかそうでないかの確認です。

その際、法名をまだお持ちでなかった場合、私は納棺の時に「帰敬式」を執り行い法名を授与します。そして、私は心の中でこう呟

「あなたが生きておられる間に、法名をい

ただくご縁を整えられずに申し訳ありませんでした」と。そして、「死後に法名を授与しても、残念ながら本来の意味はもうない」と虚しくなるのです。

そもそも法名は、生きて

いる時に本願寺などに参拝して、帰敬式を受式して授与される名前です。では、死後に授与することが虚しいと感じているのに何故そうするのかというと、浄土真宗本願寺派の寺院の住職である私は、浄土真宗の門徒の葬儀をするのがその職務であるからです。逆に言

えば、浄土真宗本願寺派の門徒でない人のお葬儀は、私には勤めることができないのです。

門徒と法名

そこで、門徒であるという

ことと法名とはどのような関係があるのでしょうか。浄土真宗本願寺派の法律に当たる「宗法」には、宗派の構成員として「僧侶・寺族及び門徒」という規定があります。その中「門徒」の項には、「門徒は、帰敬式を受けけるものとする。帰敬式を受けた者には、法名を授与する」と明記してあります。すなわち、帰敬式を受け法名を授与されていない者は、門徒ではないということです。

ですから、浄土真宗本願

寺派の寺院にご縁がありながら、帰敬式を受けていない人、法名がない人には、お葬儀を執り行うに先立って、本来は本願寺の住職である門主から授与されねばならない法名を、特例として所属寺の住職が「死後帰敬式」を挙行して法名を授与するのです。しかし、これは形式上門徒となっていないため、形だけの帰敬式と形だけの法名授与です。ですから、浄土真宗の教えに出遇っておられる人は、是非生きている間に法名をいただかれ、法名をお名告りいただきたいのです。

法名を名告る意味

生きている時に法名をいただく、法名を名告ることには、その人の人生を大き

く左右する大きな意味があります。本願寺が発行している帰敬式のリーフレットには、帰敬式を受けるということは、私の人生に三度の誕生日が訪れるということだと書かれています。三度の誕生日というのはどういふことなのかというと、一度目はこの世に人として誕生した日です。通常は、誕生はこの一度きりです。なので、生まれたらあとは死ぬまで生きることになります。しかし、浄土真宗の教えに出遇った人は、さらに二回の誕生日があるということです。

先日、純正寺門徒会所属のご夫妻と共に、本願寺へ帰敬式の受式のために参拝してまいりました。

この度、帰敬式をお受け

下さいましたのは、橋本貢治さん橋本尚子さんご夫妻です。平日午後の帰敬式でしたので、三組のご夫妻合わせて六名の帰敬式となりました。本願寺の国宝御影堂を会場に、親鸞聖人のお木像の前で帰敬式です。

お導師が入堂されますと、お導師が続いて三帰依文を受式者が唱えます。三帰依文とは「南無帰依仏（私は、阿弥陀如来を支えにして生きます）、南無帰依法（私は、南無阿弥陀仏を支えにして生きます）、南無帰依僧（私は、この教えに生きる人たちを支えにして生きます）」という、真宗門徒になるための三つの誓いです。

次に、お導師が受式者の頭へ三度お剃刀を当てられます。そして、お導師から受式者代表の方が法名を拝

受され、受式者を代表して橋本貢治さんが「帰敬文」を拝読されました。最後に、お導師が短いお祝いのお言葉をお述べられると、わずか十分ほどの帰敬式は終了しました。この帰敬式をもって、橋本貢治さんには「法名釋智貢」が、橋本直子さんには「法名釋慈尚」が授与されました。

人生に三度の誕生日

人生二度目の誕生日。それは、帰敬式を受け法名をいただいた日のことです。何故、帰敬式を受けることが二度目の誕生日になるのかというと、それまではいのちの行方がはっきりせず「死にゆくだけの虚しいのち」を生きていた人が、帰敬式を受けることにより「お浄土に向かい生まれゆく尊

いいのち」に大転換したからです。生きながらにして生まれ変わったのです。

この二度目の誕生日の証としていただいた名前が法名です。浄土真宗の教えに生きる人の名前です。ですから、ただただの名前でなく、その日から三度目の誕生日までの間に名告る名前が法名です。そして、三度目の誕生日。それは、限りあるいのちが終わる日のこと。通常は「死亡日」というのかもしれませんが、浄土真宗の教えに生きる人にとっては、この日は「お浄土に往生（誕生）した日」となるのです。

浄土真宗のお寺にご縁がありながら、未だ法名をお持ちでない方、是非今すぐ帰敬式をお受けください。



純正寺 10月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ 一、五〇七、七三八個

今年の九月は、台風十四号が通過するまで厳しい暑さが続いたこともあり、一、三五二個のキャップが集まりました。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

2日(日)・10日(祝)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

親鸞様ご命日お取越し「報恩講」

7日(金)~9日(日)
年齢・性別は問いません

私たち真宗門徒の先輩方が大切に伝えてこられた、宗祖親鸞聖人のご命日のご縁。ご法話は、高島市光明寺ご住職の松林尚真 師です。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

11日(火)・18日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

13日(木)・27日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子ども同士や親子で過ごす楽しい夕食のひと時。コロナの状況によっては、テイクアウトに変更も。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

16日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

こんき報恩講

25日(火)
10:00~11:30.13:30~15:00
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は、大津市長久寺の寺西実円師です。

「月例法話座談会」

28日(金)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

8日(土)18:00~19:00
29日(土)16:00~18:00
就学前・小・中学生対象

8日(土)は子ども報恩講、29日(土)は通常の子ども会です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVEで生配信もします。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる悩みは、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

本堂脇駐車場

改善整備工事中

純正寺本堂横の、一方通行の道路の拡張工事に伴い、本堂脇の駐車場の整備が進んでいます。純正寺門徒総代の田川善一さんが一人で、本堂と駐車場の間の「ヒバ」を伐採し土を除去。コンクリートをカッターで切断して「車止め」に作り変える作業を進めてくださっています。作業されているのを見かけられた方は、お声がけください。